

第四十九條 人口調査員前條ノ手續ヲ終ヘタルトキハ

申告書指定ノ個所ニ檢印スルト共ニ照査表寫ヲ作成

シ照査表及照査表寫ノ末尾ニ記名捺印スベシ

第五十條 人口調査員ハ申告書ヲ世帯番號順ニ重ネ一

括シ照査表及照査表寫ト共ニ市町村長ノ定ムル期限迄ニ之ヲ市町村長ニ提出スベシ

第四章 補 則

第五十一條 本規程中府縣支廳、府縣支廳長、市町村

若ハ町村又ハ市町村長若ハ町村長ニ關スル規定ハ市

制第六條及第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ各市、

市長、區又ハ區長ニ、市町村若ハ町村又ハ市町村長

若ハ町村長ニ關スル規定ハ東京都ノ區ノ存スル區域

ニ在リテハ各區又ハ區長ニ之ヲ適用シ府縣トアルハ

東京都及北海道廳ヲ、府縣知事トアルハ東京都長官

及北海道廳長官ヲ、府縣支廳トアルハ東京都支廳及

北海道廳支廳ヲ、府縣支廳長トアルハ東京都支廳長

及北海道廳支廳長ヲ、町村トアリ又ハ町村長トアル

ハ各之ニ準ズベキモノヲ包含ス

なお本同の調査に該當せざる地域に就ては同日付内閣

告示第五號に依り左の如く指定された。

昭和二一年人口調査規則第二條第一項ノ規定ニ依

リ地域左ノ通指定ス

樺太

全 域

北海道

國後郡泊村、留夜別村

色丹郡色丹村

紗那郡紗那村

擇捉郡留別村

藥取郡藥取村

得撫郡

新 知 郡

占 守 郡

花咲郡齒舞村ノ内志發島、多樂島、水晶島、勇

留島、秋勇留島

東 京 都

大島支廳管内全域

三宅支廳管内全域

八丈支廳管内全域

小笠原支廳管内全域

島 根 縣

磯地郡五箇村ノ内竹島

鹿 兒 島 縣

大 島 郡

沖 繩 縣

全 域

勞働組合施行令の制定

勞働組合法は昭和二十一年三月一日を以て實施されることとなつたが、之に就て同年二月勅令第百八號を以て、其の施行令が制定公布された。

勞働組合施行令

(昭和二十一年二月二十七日勅令 第百八號)

第一條 法第五條ノ行政官廳ハ當該組合ノ事務所ノ所

在地ヲ管轄スル地方長官トス但シ同條第二ノ場合ニ

於テ規約ノ變更ガ事務所ノ所在地ニ係ル場合ニシテ

新所在地ト舊所在地ト管轄スル地方長官ヲ異ニスル

トキハ新所在地ト管轄スル地方長官及舊所在地ト管

轄スル地方長官トス

第二條 法第六條ノ規定ニ依ル決定ハ當該組合ノ主タ

ル事務所ノ所在地ト管轄スル地方長官地方勞働委員

會ヲ決議ニ依リ之ヲ爲ス

第三條 地方長官法第六條ノ規定ニ依ル決定ヲ爲シタ

ルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ當該組

合ノ代表者ニ交付スベシ

第四條 地方長官ノ爲シタル法第六條ノ規定ニ依ル決

定ニ不服アル者ハ三週間以内ニ其ノ理由ヲ具シ文書

ヲ以テ當該決定ヲ爲シタル地方長官ヲ經由シ厚生大

臣ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五條 厚生大臣ハ前條ノ申立アリタルトキハ中央勞

働委員會ノ決議ニ依リ當該申立ノ却下又ハ當該申立

ニ係ル決定ノ取消ヲ爲ス

第三條ノ規定ハ前項ノ却下又ハ取消アリタル場合ニ

之ヲ準用ス

第六條 法第六條ノ規定ニ依ル決定ハ第四條ノ申立ナ

キ場合ハ同條ノ期間ノ經過シタル時、同條ノ申立ア

リタル場合ハ前條第一項ノ却下アリタル時其ノ效力

ヲ生ズ

第七條 前五條ノ規定ハ法第八條ノ規定ニ依リ變更ノ

命令ニ之ヲ準用ス

第八條 勞働組合ノ主タル事務所ノ所在地ト管轄スル

地方長官當該組合ヨリ勞働組合タル旨ノ證明書ノ交

付ノ申請アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ交付スベシ法

人タル勞働組合ヲ設立セントスル者ヨリ勞働組合タ

リ得ベキ旨ノ證明書ノ交付ノ申請アリタルトキ亦同

シ

第九條 法第十五條第一項ノ場合ニ於ケル手續ニ關シ

テハ第十條乃至第十八條ニ定ムルモノノ外非訟事件

手續法ノ定ムル所ニ依ル

第十條 法第十五條第一項ノ規定ニ依ル事件ハ勞働組

合ノ主タル事務所ノ所在地ト管轄スル地方裁判所ノ

管轄トス

第十一條 法第十五條第一項ノ申立ハ勞働組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方勞働委員會ノ決議ニ依リ其ノ會長之ヲ行フ

第十二條 法第十五條第一項ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スベシ

第十三條 裁判所ハ遲滞ナク審問期日ヲ定メ勞働組合ノ代表者ヲ呼出スベシ

審問期日ハ檢事及地方勞働委員會ノ會長ニ之ヲ通知スベシ

第十四條 前條第一項ノ規定ニ依ル呼出ヲ受ケタル勞働組合ノ代表者ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テハ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

辯護士ニ非ザル者前項ノ代理人ト爲ルニハ裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第十五條 審問ハ公開シタル法廷ニ於テ之ヲ爲ス但シ安寧秩序ヲ害スルノ虞アルトキハ裁判所ハ公開ヲ停ムルコトヲ得

第十六條 檢事及地方勞働委員會ノ委員ハ審問ニ立會ヒ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十七條 裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲ス裁判所ハ期日ヲ定メテ前項ノ決定ヲ言渡スベシ

勞働組合ノ解散ノ處分ニ係ル第一項ノ理由ニハ違反行爲ガ當該勞働組合ノ組合員若ハ構成團體ノ多數ニ依ル決議ニ基キ爲サレタルモノ、規約ニ依リ權限ヲ有スル代表者其ノ他ノ役員ノ命令ニ基キ爲サレタルモノ又ハ此等ノ者ニ依リ組合ノ爲ニ爲サレタルモノナルコトノ事實及證據ヲ示スコトヲ要ス

第十八條 勞働組合ノ代表者、地方勞働委員會ノ會長又ハ檢事ハ前條ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十九條 法ニ規定スルモノノ外勞働組合ノ登記ニ關シテハ第二十條乃至第三十條ニ定ムル所ニ依ル

第二十條 法第十六條第一項ノ規定ニ依ル登記ニハ左ノ事項ヲ掲グルコトヲ要ス

一 名稱

二 主タル事務所

三 目的及事業

四 代表者ノ氏名及住所

五 解散事由ヲ定メタルトキハ其ノ事由

第二十一條 勞働組合ガ主タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間以内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間以内ニ前條ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ主タル事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十二條 登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 勞働組合ノ清算結了シタルトキハ清算結了ノ日ヨリ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 勞働組合ノ登記ニ付テハ其ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル區域裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ勞働組合登記簿ヲ備フ

第二十五條 法第十六條第一項ノ規定ニ依ル登記ハ代表者ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ規約、第八條ノ證明書及申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十六條 勞働組合ノ主タル事務所ノ移轉其ノ他第二十條ニ掲グル事項ノ變更ノ登記ハ代表者若ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ登記事項ニ變更ヲ要スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十七條 勞働組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及代表者ガ清算人ト爲ラザル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十八條 勞働組合ノ清算結了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ清算人ガ主務官廳ニ清算ノ結了ノ届出ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十九條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第三十條 非訟事件手續法第四百一一條乃至第五百一一條、第五百一一條乃至第五百一十一條ノ四、第五百一十一條ノ六及第五百一十四條乃至第五百一十七條ノ規定ハ勞働組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三十一條 法人タル勞働組合ノ所得ニシテ收益ヲ目的トスル事業ヨリ生ジタルモノ以外ノモノニ付テハ法第十八條ノ規定ニ依リ所得稅及法人稅ヲ課セズ

法人タル勞働組合ハ法人稅法第十八條ノ申告書ヲ提出スル場合ニ於テハ收益ヲ目的トスル事業ヨリ生ジタル所得ト其ノ他ノ所得トヲ區別シタル計算書ヲ添付スベシ

第三十二條 法第十九條第二項ノ行政官廳ハ當該勞働協約ノ當事者タル勞働組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官及當該勞働協約ノ當事者双方ニ係ル工場事業場(其ノ所在地一定セザルモノヲ除ク)ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トシ同項ノ規定ニ依リ届出ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外當事者双方ノ連名ヲ以テ之ヲ爲スベキモノトス

第三十三條 法第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ他ノ同種ノ勞働者ニ關シ勞働協約ノ適用アルニ至

面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十七條 勞働組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及代表者ガ清算人ト爲ラザル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十八條 勞働組合ノ清算結了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ清算人ガ主務官廳ニ清算ノ結了ノ届出ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第二十九條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第三十條 非訟事件手續法第四百一一條乃至第五百一十一條、第五百一十一條乃至第五百一十一條ノ四、第五百一十一條ノ六及第五百一十四條乃至第五百一十七條ノ規定ハ勞働組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三十一條 法人タル勞働組合ノ所得ニシテ收益ヲ目的トスル事業ヨリ生ジタルモノ以外ノモノニ付テハ法第十八條ノ規定ニ依リ所得稅及法人稅ヲ課セズ

法人タル勞働組合ハ法人稅法第十八條ノ申告書ヲ提出スル場合ニ於テハ收益ヲ目的トスル事業ヨリ生ジタル所得ト其ノ他ノ所得トヲ區別シタル計算書ヲ添付スベシ

第三十二條 法第十九條第二項ノ行政官廳ハ當該勞働協約ノ當事者タル勞働組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官及當該勞働協約ノ當事者双方ニ係ル工場事業場(其ノ所在地一定セザルモノヲ除ク)ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トシ同項ノ規定ニ依リ届出ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外當事者双方ノ連名ヲ以テ之ヲ爲スベキモノトス

第三十三條 法第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ他ノ同種ノ勞働者ニ關シ勞働協約ノ適用アルニ至

リタルトキハ使用者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ關係勞働者ニ周知セシムベシ

第三十四條 法第二十四條第一項ノ行政官廳ハ當該地域ヲ管轄スル地方長官トシ當該地域ガ二以上ノ都道府縣ニ互ルトキハ厚生大臣トス

第三十五條 中央勞働委員會ハ厚生省ニ、地方勞働委員會ハ都道府縣毎ニ之ヲ置キ地方勞働委員會ニハ當該都道府縣ノ名ヲ冠ス

第三十六條 勞働委員會ハ別ニ定ムルモノノ外中央勞働委員會ハ二以上ノ都道府縣ニ係ル事務、地方勞働委員會ハ當該都道府縣ニ係ル事務ヲ掌ル

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ法第二十七條第一項第二號又ハ第三號ノ事務ハ中央勞働委員會又ハ厚生大臣ノ指定スル地方勞働委員會ヲシテ之ヲ掌ラシムルコトヲ得

第三十七條 中央勞働委員會ノ委員ハ二十一人以内トシ厚生大臣之ヲ委嘱ス

地方勞働委員會ノ委員ハ十五人以内トシ地方長官之ヲ委嘱ス

前二項ノ委員ノ外必要アルトキハ厚生大臣又ハ地方長官ハ臨時委員ヲ委嘱スルコトヲ得

厚生大臣又ハ地方長官ハ勞働委員會ノ委員ヲ委嘱セントスル日ヨリ六週間前ニ使用者團體ニ對シ使用者ヲ代表スル者ヲ、法第五條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル勞働組合ニ對シ勞働者ヲ代表スル者ヲ推

薦スベキコトヲ請求シ、請求シタル日ヨリ三週間ヲ經過シタル日ニ推薦アリタル者ノ氏名ヲ公表スルモノトス但シ勞働委員會ヲ設置セントスル場合ニ於テ使用者若ハ勞働者ノ意見ヲ代表スル適當ナル使用者團體又ハ勞働組合ナキトキ又ハ臨時委員ヲ委嘱セント

スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

勞働委員會ノ委員ノ委嘱ニ付使用者團體若ハ勞働組合ノ推薦若ハ使用者ヲ代表スル者及勞働者ヲ代表スル者ノ同意ヲ得ルコト能ハザルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ推薦アリタル者不適當ナルトキハ厚生大臣又ハ地方長官ハ職權ヲ以テ委員ヲ委嘱スルコトヲ得

第三十八條 特別勞働委員會ノ名稱、位置、管轄區域、所管事務、委員ノ定數其ノ他特別勞働委員會ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第三十九條 勞働委員會ノ委員ノ任期ハ一年トス委員ガ法令ニ違反シ刑ニ處セラレタル場合、衆議院議員選舉法第六條ノ規定ニ依リ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル場合、勞働委員會ニ出席スルコト能ハザルニ至リタル場合又ハ勞働委員會ノ決議ニ依ル職事

其ノ他ニ關スル定メニ屢違反シタル場合ハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該勞働委員會ニ於テ他ノ出席委員全員ノ同意ヲ得テ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ但シ同條ノ規定ニ依リ被選舉權ヲ有セザルニ至リタル場合ニ付テハ委員ノ同意ハ之ヲ要セス

委員ニ關員ヲ生ジタル場合ニ於ケル補闕委員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

第四十條 勞働委員會ニ會長ヲ置ク會長ハ第三者タル委員中ヨリ委員之ヲ選舉ス

會長ハ會務ヲ總理シ當該勞働委員會ヲ代表ス會長事故アルトキハ第一項ノ規定ニ準ジ選舉セラレタル者會長ノ職務ヲ代理ス

第四十一條 勞働委員會ハ會長之ヲ招集シ其ノ議事ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

勞働委員會ハ使用者ヲ代表スル委員、勞働者ヲ代表スル委員及第三者タル委員各一人以上出席スルニ非ザレバ決議ヲ爲スコトヲ得ズ

勞働委員會ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ其ノ決議ニ依リ勞働委員會ノ招集又ハ議事ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 勞働委員會(特別勞働委員會ニ付テハ厚生大臣ノ指定スルモノニ限ル)ニ事務局ヲ置ク事務局ハ事務局長並ニ幹事及書記若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

前項ノ職員ハ會長ノ同意ヲ得テ中央勞働委員會ニ在リテハ厚生大臣、地方勞働委員會ニ在リテハ地方長官之ヲ委嘱ス

事務局長ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス幹事ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四十三條 關係官吏ハ會長ノ許可ヲ受ケ會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第四十四條 法第二十六條第四項ノ命令ヲ以テ定ムル職員トハ第四十二條第一項ニ掲グル職員トス

第四十五條 法第三十二條ノ行政官廳ハ地方勞働委員會ノ爲ス建議ニ關シテハ地方長官、中央勞働委員會ノ爲ス建議ニ關シテハ厚生大臣トス

第四十六條 法第三十三條第二項ノ請求ハ當該違反行爲アリタル地ヲ管轄スル地方勞働委員會ノ決議ニ依リ其ノ會長書面ヲ以テ檢事ニ之ヲ行フ

第四十七條 本令ニ依ル地方長官ニ對スル届出ハ當該所在地ヲ管轄スル勤勞署長ヲ經由シ之ヲ爲スベシ

第四十八條 厚生大臣必要アリト認ムルトキハ地方長官以外ノ行政官廳ヲ指定シテ本令ニ依ル地方長官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得但シ厚生大臣其ノ指揮監督

警ノ下ニ在ラザル行政官廳ヲ指定セムトスルトキハ豫メ所管大臣ト協議スルコトヲ要ス

船員法ノ適用アル船員ニ關シテハ第三十二條中當該勞働協約ノ當事者双方ニ係ル工場事業場(其ノ所在地ノ一定セザルモノヲ除ク)ノ所在地トアルハ當該勞働協約ノ當事者タル使用者又ハ其ノ團體ノ主タル事務所ノ所在地トス

前項ノ船員ニ關シテハ本令(前條ヲ除ク)中厚生大臣トアルハ運輸大臣、地方長官トアルハ海運局長、厚生省トアルハ運輸省、都道府縣トアルハ海運局ノ管轄區域トス

附則

本令ハ勞働組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ存スル勞働協約ニ付テハ其ノ當事者ハ本令施行ノ日ヨリ一週間以内ニ第三十二條ノ規定ニ準ジ届出ヲ爲スベシ

又組合法の施行事務に關シテは、三月二十日厚生省訓令第七號を以て、左の如く處理規程が制定公布された。

勞働組合法施行事務處理規程

(昭和二十一年三月二十日
厚生省訓令第七號)

第一條 勞働組合法(以下法ト稱ス)第五條第一項ニ依ル勞働組合(支部ヲ含ム)ノ設立ハ届出アリタルトキハ勤勞署長ハ直チニ様式第一號ニ依ル勞働組合臺帳(以下臺帳ト稱ス)ニ登錄シ同條第二項ニ依ル變更ノ届出アリタルトキ其ノ他臺帳記入事項ニ異動アリタルトキハ勤勞署長ハ直チニ當該臺帳ノ加除訂正ヲ爲スベシ

臺帳ニハ勞働組合名ノ索引ヲ附スベシ
第二條 勤勞署長ハ勞働組合ニ關スル届出書類ニ其ノ受理年月日及勤勞署ノ當該臺帳ノ登錄番號ト同一ノ番號ヲ記入シ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ申達スベシ
第三條 地方長官前條ノ申達ヲ受ケタルトキハ第一條

ニ準ジ臺帳ヲ整備シ當該届出書類ニ當該臺帳ノ登錄番號ト同一ノ番號ヲ附シ之ヲ整理シ置クベシ

第四條 法第六條ノ決定又ハ法第十五條ノ解散處分確定シタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該組合ノ關係勤勞署長及關係地方長官ニ通報スベシ
第五條 解散シタル勞働組合ノ臺帳ハ所定事項ヲ記入ノ上之ヲ別ニ保管スベシ

第六條 令第八條ノ證明書ハ様式第二號ニ依ルベシ
第七條 設立ノ届出アリタル組合ガ法第二條第一項ニ該當セズ若ハ該當セザルニ至リタルモノト認メラルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該組合ノ代表者ニ通知シ其ノ注意ヲ喚起シ地方勞働委員會ニ附議スルノ要アリト認メラルモノニ付テハ其ノ理由ヲ附シ遲滞ナク之ヲ地方勞働委員會ニ送致スベシ勞働組合ノ規約法令ニ違反スト認メラルモノアルトキ亦同ジ

第八條 地方長官法第六條ノ決定ヲ爲シタルトキハ様式第三號ニ依ル決定書ニ、法第八條ノ變更ノ命令ヲ爲シタルトキハ様式第四號ニ依ル規約變更命令書ニ地方勞働委員會ノ當該決議書ノ寫ヲ添附シ之ヲ當該組合ノ代表者ニ手交シ其ノ承書ヲ徵スベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ依リ決定書又ハ規約變更命令書ヲ當該組合ノ代表者ニ手交スルコト能ハザルトキハ此ノ限りニ非ズ

第九條 法第六條ノ決定又ハ法第八條ノ變更ノ命令ニ付異議ノ申立アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク之ニ對スル意見書及地方勞働委員會ノ當該決議書ヲ添附シ厚生大臣ニ申達スベシ
第十條 法人タル勞働組合ニ付民法第八十三條ニ依ル清算終了ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ直チニ其ノ旨ヲ當該組合ノ關係勤勞署長及關係地方長官ニ通報スベシ

第十一條 令第二十八條ノ勞働組合清算終了届出ノ證明書ハ様式第五號ニ依ルベシ

第十二條 法第十九條ニ依リ勞働協約ノ届出アリタルトキハ勤勞署長ハ直チニ當該協約ニ勤勞署整理番號ヲ附シ當該組合ノ臺帳ニ所定事項ヲ記入ノ上當該協約ヲ地方長官ニ申達スベシ

地方長官前項ノ申達ヲ受ケタルトキハ當該協約ニ整理番號ヲ附シ當該組合ノ臺帳ニ所定事項ヲ記入ノ上之ヲ整理保管スベシ

第十三條 勞働組合ノ規約並ニ勞働協約ハ之ヲ二部徴シ一部ハ勤勞署ニ於テ整理保管スベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ依リ勞働組合ノ規約並ニ勞働協約ヲ徵スルコト能ハザルトキハ此ノ限りニ非ズ

第十四條 地方長官法第二十四條第一項ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ同條第三項ニ依リ公告スルト共ニ關係使用者ニ通知スベシ

第十五條 地方長官法第二十七條第二號又ハ第三號ノ事務ニシテ令第三十六條第二項ニ依リ中央勞働委員會又ハ厚生大臣ノ指定スル地方勞働委員會ヲシテ掌ラシムル必要アリト認メラルル事案生ジタルトキハ地方勞働委員會ノ意見ヲ徵シタル上直チニ事情ヲ具シ其ノ旨厚生大臣ニ申達スベシ

第十六條 勞働組合、勞働協約、勞働爭議等ニ關シ必要ナル事項ハ關係地方商工局長、鐵道局長、遞信局長其ノ他關係官衙ノ長ニ遲滞ナク之ヲ通報スベシ

第十七條 地方長官ハ少クトモ年二回勤勞署長ヲシテ其ノ管轄地域内ニ在ル勞働組合ニ付臺帳登錄事項整理ノ爲必要ナル調査ヲ爲サシムベシ

第十八條 地方長官地方勞働委員會ノ委員ヲ委嘱シタルトキハ其ノ住所氏名、職業及經歷ヲ遲滞ナク厚生大臣ニ報告スベシ退職解職又ハ死亡ノ場合ハ其ノ者ノ氏名ヲ厚生大臣ニ報告スベシ
事務局長又ハ幹事ニ付亦前項ニ同ジ但シ其ノ者ガ官吏ナルトキハ其ノ官職、氏名ヲ報告スルヲ以テ足ル

第 號		勤勞署臺帳 第 號		勞働組合證明書 第 號			交 付 年 月 日				
名 稱		事務所所在地		支部(本部)ノ名稱及事務所所在地							
設立届出 年 月 日		解散 年 月 日		事由 法第十四條第 號		清算終了ノ 届出 年 月 日					
代表者ノ所名 住職・氏		主ナル役員 ノ役名及職名 氏									
組 織 別		産業別 (中分類)		職業別		其ノ他		意思決定機關			
加盟團體名 加 盟 年 月 日		法人格登記 年 月 日		組合員 タルノ 資格							
支持政黨名		一人當ノ 組合費									
組合ノ關係 工場名		産業別 (中分類)		種 別			從 業 員 數 (A)		組 合 員 數 (B)		組織率 B/A (%)
				職 員			男		女		計
				勞務者							
				計							
				職 員							
				勞務者							
				計							
				職 員							
				勞務者							
				計							
				職 員							
				勞務者							
				計							
合 計											
勞働協約		整理番號	締年 月 日	法第二十二條 機關ノ有無	クローズドシ ヨップノ協定 ノ有無	協約締結ノ原由 當事者ノ第三者 平和の交渉ノ斡旋ノ結果	締結ノ者	機 關 誌			
								誌名			
								刊行 度數			
附帶專業及 年中主要行事											
第 號		勤勞署臺帳 第 號		登 錄 年 月 日							

雜報

第 號		勤勞署臺帳第 號		労働組合證明書第 號		交付 年 月 日		
名 稱								
事務所所在地								
設立届出 年 月 日		解散 年 月 日		事由法第十四條第 號		清算終了ノ 届出 年 月 日		
代表者ノ 住所 職・氏名		主ナル役員ノ 役名及 職・氏名						
組織別	産業別 (中分類)	職業別		其ノ他		意思決定機關		
加盟聯合國體名 加 盟 年 月 日		法人格登録 年 月 日		構成團體タルノ資格				
支持政黨名		組合費						
構成團體名	組織別	所 在 地	組 合 員 數					合 計
			職 員		勞 務 者			
			男	女	計	男	女	計
勞 働 協 約	整 理 番 號	締 結 年 月 日	協約締結當事者名		機 關 誌			
					誌名	刊行 度數		
附 帶 事 業	年 中 主 要 行 事							
第 號	勤勞署臺帳第 號		登 錄 昭 和 年 月 日					

様式第二號ノ一(勞働組合證明書)

第 號

證明書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者勞働組合法第二條第一項ニ該當スル勞働組合ナル

コトヲ證明ス

昭和 年 月 日

知事

様式第二號ノ二(法人タル勞働組合タリ得ベキモノナル證明書)

第 號

證明書

名 稱

設立代表者住所氏名

右者勞働組合法第二條第一項ニ該當スル法人タル勞働

組合タリ得ベキモノナルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

知事

様式第三號(勞働組合否認決定書)

第 號

決定書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者 地方勞働委員會ノ決議ニ依リ勞働組合法第

二條第一項ニ該當セザルニ至リタルモノト決定ス

昭和 年 月 日

知事

様式第四號(勞働組合法規約變更命令書)

第 號

變更命令書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

代表者住所氏名

右者ニ對シ勞働組合法第八條ノ規定ニ基キ

方勞働委員會ノ決議ニ依リ其ノ規約中左ノ通變更スベ

キコトヲ命ズ

記

一 「トアルヲ」 「トス

二 「トアルヲ」 「トス

昭和 年 月 日

知事

様式第五號(勞働組合清算終了届出證明書)

第 號

證明書

名 稱

主タル事務所ノ所在地

清算人住所氏名

右者勞働組合ノ清算終了ノ届出ヲ爲シタルコトヲ證明

昭和 年 月 日

知事

朝鮮人、中華民國人、本島人及本

籍を北緯三十度以南(口之島を

含む)の鹿兒島縣又は沖繩縣に有す

る者の登録に關する省令公布

一 氏名

二 年齢(數(年))

三 男女ノ別

四 本籍地

五 住所

六 職業

七 歸還希望ノ有無

昭和二十年勅令第五百四十二號「ポツダム」宣言の受諾に伴ひ發する命令に關する件に基き朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍を北緯三十度以南(口之島を含む)の鹿兒島縣又は沖繩縣に有する者に關する登録令は昭和二十一年三月十三日を以て左の如く公布された。

朝鮮人、中華民國人、本島人、及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)鹿兒島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者登録令

昭和二十一年三月十三日
厚生省令第一號
内務省令第一號

第一條 朝鮮人、中華民國人、本島人及本籍ヲ北緯三十度以南(口之島ヲ含ム)ノ鹿兒島縣又ハ沖繩縣ニ有スル者ノ歸還希望ノ有無ヲ調査スル爲登録ヲ實施ス
第二條 登録ハ昭和二十一年三月十八日午前零時ノ現在ニ依リ同時期ニ於テ内地(特別ノ事情アル地域ニシテ厚生大臣ノ指定スルモノヲ除ク以下同ジ)ニ現在スル者ニ付之ヲ行フ
前項ノ時期前ニ内地ノ港灣ヲ發シ途中寄港セズシテ同項ノ時期後二日以内ニ始メテ内地ノ港灣ニ入リタル者ハ同項ノ時期ニ内地ニ現在シタル者ト看做ス

第三條 登録ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ